

# 岡山県第二岡山高等女学校 創立80年

岡山県第二岡山高等女学校は昭和11年(1936)に設置されました。  
今年ちょうど80年を迎えたこととなります。  
その記念として二女最後となった入学生の方々にお集まりいただき、  
学び舎の変遷や部活動の話などを語っていただきました。

## 二女の教育方針は、奥ゆかしい大和撫子を育てること。 ところが、私たちは元気いっぱいのお転婆ぞろいでした。

### 150名が入学し、にわか造りの校舎を転々。 一高生と《お見合い》して朝日高生に

募集人数が50人から一気に150人に増えた昭和21年(1946)に私たちは入学しました。戦前の二女の校舎は、もともと現在の中央中学校(藩校跡)にありました。しかし戦争で焼け落ちてしまったため、岡山市中山下の焼け跡に旧兵舎を再利用した校舎ができるまで、二女の生徒は学び舎を転々とするようになります。私たち1年生は番町にあった教育会館2階の会議室を仮の教室として使わせてもらいました。教会のような長椅子が並び、椅子の後ろに付いた小さなテーブルが机替わりです。150名がひとつの教室にぎゅうぎゅう詰めで授業を受けましたが、同級生だけなので気が楽でした。

お転婆さんばかりでしたね。翌年元の校地に校舎が復興して、そこに戻った後は、10円集めて富田町に焼き芋をよく買いに行ったものです。体育の授業が始まったのは元の校地に戻ってからで、体育の先生が偽教師と判った時にはみんなびっくり。戦後はそんな事件がしょっちゅうありました。

昭和24年(1949)の秋に一高生と《お見合い》して朝日高生となり、烏城校舎(内山下校舎)に通うようになります。岡山城の本丸上の段にまで校舎があり、急な石段を登って通学するのは大変でした。男子生徒の中には石垣をそのまま登って通学する人もいたんです。後樂園まで泳いで渡ったり、お城の

下にあった茂みでさぼったり、それどころか校舎の窓に穴を開けたりする、そんなむさくるしい男子ばかりがいる教室。そこに二女生が入って来た時の、なんとも柔らかな雰囲気は今も忘れられないと、当時の一高生は言います。その後、旧六高跡の国富に移転し、昭和27年(1952)に卒業を迎えました。

### 戦前から一変。 好きな部活にいくつでも参加

二女生の部活動は盛んでしたね。私たちの上の世代には作法の授業があり、そこから創部に至った部(茶道部など)もあったようですが、戦後は非常勤の先生が多く、その先生方がスポーツや趣味など自分の得意な事を教えるスタイルで自主的に部活動を始め、私たち二女生は好きな活動にいくつでも参加してよいという感じでした(高島さんは二女で唯一強かったバレーボール部に、中村さんはテニス部、桔梗さんは陸上部とバスケットボール部、書道部などいくつもの部で多彩に活躍)。ソフトボール部や卓球部もあって、バスケットボールのゴールはなんと先生の手作りでした。また焼け跡に復興した校舎の運動場はとても広く感じられました。その一面に先生が畑を作り、一人にひとつの区画をもらって花を育てる園芸活動も楽しかったですね。二女はお嬢様学校でしたから、スポーツはバレーボール以外弱かったのですが、先生や先輩方と楽しい時間を過ごした部活動は、かけがえのない青春の思い出です。



### 【昭和21年(1946)に入学した皆さんの卒業までの年表】

- 昭和21年(1946) 岡山県第二岡山高等女学校に入学
- 昭和22年(1947) 新制中学校の発足で、同校の併設中学校の2年生となった
- 昭和23年(1948) 学制改革で岡山県立岡山第二女子高等学校となり、同校の併設中学校の3年生となった
- 昭和24年(1949) 岡山県立岡山第二女子高等学校に進学。岡山県立岡山第一高等学校との合併で、岡山県立岡山朝日高等学校となった
- 昭和27年(1952) 卒業。6年間の在学中に5つの校名を経験することになった

写真左より、高島歌子さん、中村益子さん、桔梗八枝子さん